

マスコミ各位

平成31年3月6日（水）

沖縄県保健医療部地域保健課 結核感染症班

担当：久高、仁平

電話：098-866-2215

インフルエンザの流行状況について ～警報解除～

1 概要

感染症発生動向調査による本県のインフルエンザ定点あたりの報告数が、平成31年第9週（平成31年2月25日～3月3日）に、9.72人（定点医療機関58カ所、報告数564人）となり、警報レベルの終息基準値の10人を切りましたので、インフルエンザ警報を解除します。

本県では、第1週（平成30年12月31日～平成31年1月6日）にインフルエンザ注意報、第2週（1月7日～13日）にインフルエンザ警報を発令し、第3週（1月14日～20日）をピークに患者は減少しておりました。

なお、第9週に報告されたインフルエンザウイルスの型別割合は、A型82.6%（466/564）、B型3.4%（19/564）となっています。年齢別では、5～9歳が98人（17.4%）で最も多く、次いで60歳以上88人（15.6%）、1～4歳82人（14.5%）の順となっています。

※インフルエンザ流行についての情報は、以下のサイトもご参照下さい。

また県では、インフルエンザの予防及び蔓延防止を図るため、別添チラシを作成し、関係機関へ配布しております。チラシは、沖縄県感染症情報センターホームページからダウンロードできます。

沖縄県感染症情報センターホームページ

<http://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/eiken/kikaku/kansenjouhou/home.html>

国立感染症研究所 感染症疫学センターホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

2 インフルエンザの流行状況

感染症発生動向調査事業において県内のインフルエンザ 58 定点医療機関（小児科定点:34、内科定点:24）の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約 5,000 カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

(1) 定点当たりの患者報告数（直近の 7 週間）

	週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
		1/14 ~1/20	1/21 ~1/27	1/28 ~2/3	2/4 ~2/10	2/11 ~2/17	2/18 ~2/24	2/25 ~3/3
県	患者数	3,172	2,848	2,734	2,059	1,348	768	564
	定点当	54.69	49.10	47.14	35.50	23.24	13.24	9.72
全国	患者数	267,596	283,388	214,592	129,989	61,992	44,601	
	定点当	53.91	57.09	43.24	26.28	12.49	8.99	

※感染症発生動向調査システム上の警報・注意報の発令基準値

流行注意報：定点当たり 10 人以上
 流行警報：定点当たり 30 人以上
 警報終息：定点当たり 10 人未満

第 9 週における保健所別定点あたり患者報告数は、那覇市保健所が 11.42 人で最も多く、次いで南部保健所 11.36 人、中部保健所 9.95 人、北部保健所 7.40 人、八重山保健所 6.00 人、宮古保健所 3.50 人の順となっています。

(2) 県内の型別患者報告数（直近の 7 週間）

	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週
週	1/14 ~1/20	1/21 ~1/27	1/28 ~2/3	2/4 ~2/10	2/11 ~2/17	2/18 ~2/24	2/25 ~3/3
A 型	2,711	2,566	2,469	1,808*	1,201	638**	466
B 型	9	34	44	48*	32	38**	19
不明	452	248	221	204	115	94	79

* 1 名は医療機関より A B 共に陽性として報告

** 2 名は医療機関より A B 共に陽性として報告

(3) 年齢別患者報告数（第 9 週）

年齢群	0 歳	1~4 歳	5~9 歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60 歳以上	合計
患者報告数 (%)	10 (1.8)	82 (14.5)	98 (17.4)	53 (9.4)	27 (4.8)	65 (11.5)	49 (8.7)	50 (8.9)	42 (7.4)	88 (15.6)	564

(4) 休校、学年・学級閉鎖の状況

第 9 週は、学級閉鎖 4 校（中部保健所管内小学校：1、南部保健所管内小学校：3）が報告されています。

3 県民の皆様へのお願い

インフルエンザ警報は解除となりましたが、例年の傾向として、3月頃から B 型インフルエンザの患者が増加します。また、インフルエンザと感染経路を同じくする風しんの患者報告は、全国的に継続しています。県民の皆様におかれましては、「手洗い」や「咳エチケット」などの感染予防策の徹底に加えて、発熱等がある場合は、不要不急の外出を控えてください。

○インフルエンザの感染予防策

(流行時の予防方法)

- ① 食事の前や帰宅後には、必ず「手洗い」をしましょう。
- ② バランスよく栄養を摂取し、十分な睡眠をとりましょう。
- ③ インフルエンザの予防接種を受けましょう。
- ④ 「咳エチケット」を実行しましょう。
- ⑤ 室内の換気に気をつけ適切な湿度を保ちましょう。
- ⑥ インフルエンザが流行しだしたら、不要不急の外出を避けましょう。

○インフルエンザに罹ってしまったら

- ① かかりつけ医にまず相談、受診しましょう（救急医療をつぶさない）。
- ② 感染を広げないために、会社や学校を休み、安静にしましょう。
- ③ マスクを着用し、咳やくしゃみをする時は「咳エチケット」を守りましょう。